

2020年7月9日

報道関係各位

中部学院大学

中部学院大学短期大学部

イエロー・エンジェルが生活物資を寄付

食事に苦しむ下宿生や留学生らに食料品の援助を受ける

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、これまで本学と親交の深いNPO法人イエロー・エンジェル（代表理事 宗次 徳二氏）のご厚意で、食料品などの援助を受けました。新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活に困難を強いられている学生や留学生らに配布します。

内訳はインスタントラーメンをはじめ、レトルト食品や缶詰などが約1000食分、菓子類が約500袋（小分けした場合）、飲料水約900本。今月3日、宗次氏本人が本学まで物資を届けてくださいました（詳細は下記参照）。

本学では、食料品・飲み物・菓子をセットにして、下宿生ら約700人を対象に7月9日より配布を始めます。対象の学生には事前にメールを送り、学生が登校した際に学生課にて手渡しして、生活の足しとしてもらうことにしました。

なお、本学では今年5月にも、イエロー・エンジェルから総額250万円の支援を受け、イエロー・エンジェル「緊急生活支援給付奨学金」を支給しました。下宿生でアルバイト収入が1/2以上減少した学生（留学生を含む）など計100人に一律25,000円を給付しました。今回の食料品の援助は今月2日、片桐学長が奨学金に対する感謝状と学生のお礼状を宗次氏に届けた際、宗次氏が学生の現状を憂い、実現しました。宗次氏は「生活に苦しむ学生や留学生に役立ててほしい」と語りました。

記

【イエロー・エンジェル「生活援助物資」の提供】

- 食料品内訳

| | |
|--------------|---------------|
| インスタントラーメンなど | 945食分 |
| 菓子類 | 488袋（小分けした場合） |
| 飲料水 | 858本 |
- 食料品の受渡開始時期 7月9日（木）から順次

【NPO 法人イエロー・エンジェル】

株式会社壺番屋創業者、宗次徳二氏が 2003 年に設立した NPO 法人。夢と目標を持って一つの事に打ち込んでいるいろいろな方々への支援をしています。特に経営塾による創業支援、芸術家、スポーツ選手および福祉、早起き、掃除の実践運動、福祉慈善活動の啓蒙など。(ホームページより一部抜粋)

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 学生課 (学生課長：渡邊) TEL:0575-24-2214